

令和6年度 福島県働き方改革モデルづくり事業



伊達貨物運送株式会社

会社概要

社名	伊達貨物運送株式会社
所在地	福島県伊達市箱崎字沖前73番地3
設立	1968年 7月 1日
従業員数	男性 85人 女性 9人
業務内容	運送事業 倉庫業 労働者派遣業 飲食業
経営理念	・ 我社の存在意義とは、その活動により関係する取引先及び社員とその家族の幸福を追求することである。 ・ 自分と他人(ひと)との縁(えにし)を決して疎かにせず、心と心の繋がりを第一に大切なものとします。 ・ すべての社員が己の責任を自覚し努めることで、地域や社会への貢献を果たして参ります。



取り組みのきっかけと目標

1. お互いの進捗状況が把握できないため相互サポートのタイミングが分からず、一部のメンバーが長時間労働になることがあった。
2. 以前からのやり方が浸透していて、業務改善や効率化に課題を感じていた。

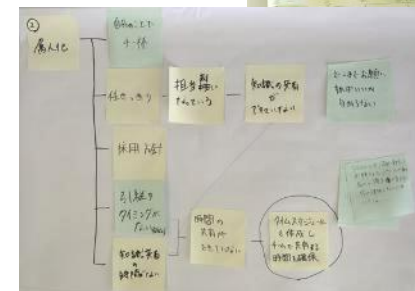
以上のことから、2つの目標に向けて取り組みをスタート

業務を見える化し
「誰でも出来る化」にすることで
お互いの理解を深める

業務の効率化を図り
誰もが定時に帰る職場になる

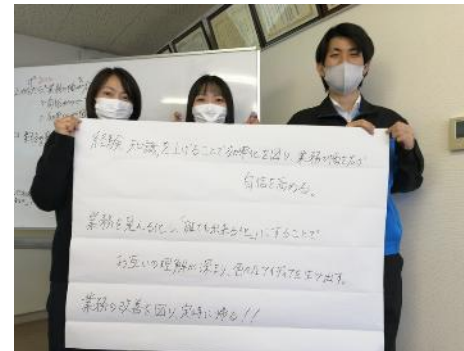
取り組み内容

1. 1日の時間の使い方を可視化するために、共有フォルダ内にExcelで「本日の予定表」を作成。「業務の優先順位」「業務にかかる時間の見積もり」を考え、始業から終業までの8時間に時系列に入力して予定通りに仕事が進められるかを検証した。
2. 上記タイムマネジメントにコメント欄を設け、「集中タイム宣言」や「不在時の対応」などを共有できるように運用した。
3. 専用システムPCを使用するタイミングが被ることが多く、待機時間が発生していたため、効率化を図るためのルール策定の検討を開始した。



取り組み成果

1. 毎日タイムマネジメントを実施したことで、自分が思っていたよりも時間がかかっており翌日に持ち越していることが分かった。これまでは「早く終わらせなければ」という感覚だったが「いつまでに終わらせる」という視点で時間を意識して仕事をするようになり、徐々に予定通りの時間内で終わらせることが出来るようになってきた。
2. 個人のタイムマネジメントを共有したことで互いの予定と進捗が把握できるようになり、相互サポートが可能になった。また、相談のタイミングが難しいと感じていたが、相手のスケジュールが確認できるのでこれまで以上にコミュニケーションが取りやすくなった。
3. タイムマネジメント共有の考え方を参考にして「専用PC使用予定表」を作成。各人が使用目的・使用日時を入力することで使用状況を可視化することが可能になり、個人の業務予定も立てやすくなった。使用目的の内容によって優先順位を検討し、使用時期を調整するなど柔軟な対応も可能になり、作業効率が高まった。



取り組みから感じたこと

メンバーの感想

業務の効率化を図る際に、これまでは個人のペースで考えていましたが、チームで共有し、進めることにより大幅に効率化を図ることが出来ました。

受講したメンバーから全体に広め、今後も継続して取り組んでいきたいと思います。

事務局から

今までは、「それぞれがルーチンワークをこなす」といった仕事の仕方でしたが、受講後は、お互いの仕事にも関心を持ち、改めて「共に働く」という意識が持てたようです。

時間を意識する・生産性を考える等、とても良いきっかけになりました。

「仕事のスタイルは変化していく」と気づかせて頂きました事、感謝しております。

今後に向けて

今回の取り組みでの「成果」を参加メンバーが実感しており、自分の仕事への係わり方を上手に整理出来たことで効率や生産性が向上させることが出来ました。

しかし未だ社内のごく限られたセクションに留まった成果ですので、徐々にではありますが全社へ波及させ弊社のスタンダードとして定着させて行こうと思っています。

このような「気付き」の機会を頂きました担当コンサルタントに感謝です。